

25

(水)

狭い門

狭い門から入りなさい。滅びに至る門は大きく、その道も広い。そして、そこから入る者は多い。

マタイによる福音書7章13節

「狭き門」とは、進学や就職における競争の激しい難関を指します。そのため、神の国に入るには審査が非常に厳しく、高いレベルの信仰や倫理性が要求されているかのように考えてしまいます。しかし、主イエスが「財産のある者が神の国に入るのは、なんと難しいことか」(マルコ10:23)と言われたように、神の国に入るのが難しいのは、私たちに信仰や何かが必要ないからではありません。反対に、あれもこれも持ちすぎていて、狭い門を入れないのです。財産だけでなく、自信やプライドをはじめ、身につけている荷物が大きすぎるのです。それらのものを持ったまま通過できる、滅びに至る広い門から入ろうとしてしまうのです。神の国は幼子のような者が入ることができると言われたように、主イエスの十字架以外に頼るものがない罪人だけがその門を入ることができますのです。